

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年3月5日

事業所名:こども発達支援センターaz

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		・子ども同士が密にならないように工夫している	お子さまや保護者様が快適に過ごせるよう、スペースの確保や備品の配置などにおいて、可能な限り工夫致します。
	2 職員の配置数は適切である	3		・お子様対応のスタッフの他に適宜保護者対応のスタッフを置いている	ご利用者様や保護者様に療育の意図や内容をしっかりとお伝えできるよう、サポート体制を検討し、事業を実施して参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		・おやつ、あそび、勉強等エリアを分けている	どこで何をするのが分かりやすいように、活動と場所を使い分け、何をする場所化を視覚的にお伝えすることに努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			今後も毎朝の清掃を継続し、活動に合わせた空間づくりを行ってまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		・指導案の振り返りや立案を通してPDCAサイクルを回している	事業所全体や法人内の同じ形態の事業所と会議を行う中で、業務改善に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			今後も、毎年アンケートを実施し、業務改善に努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			1年に1回HPで公表している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		・第三者評価未実施 ・外部職員によるSV等の機会がなかった	今後もアンケートや事業所評価を実施し、職員同士で振り返りを行うことで、業務改善に努めてまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			職員の専門性を高めるため、内部、外部の研修等を通して人材育成や自己研鑽に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			今後も継続して、アセスメント結果を療育を通して、保護者様にしっかりとお伝えし、アセスメントに基づいた児童発達支援計画を作成するよう努めてまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			上記同様です。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			児童発達支援計画に基づき、家族支援についての目標の共有を行うよう努めます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		・計画を見直し活動計画を立てている	保護者様と立案した児童発達支援計画又は、放課後等デイサービス計画に基づいて療育プログラムを立案し、プログラムの
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3		・振り返りの時間を設けている	よりチームでの検討を深めるため、ケース共有の機会を増やすよう務めます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			毎回、お子様の興味関心や好みを探りながら、療育プログラムを立案するよう努めます。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3		・目標や現状に合わせて集団活動を組み合わせている	ご利用者様の児童発達支援計画に基づき、個別活動とグループ活動の時間を設定するよう心がけます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		3	・確認の時間を作っている ・2名以上の職員で療育を実施、評価を行っている	今後も継続し、朝会時にご利用者様について職員間で連絡事項の確認を行い、職員間のコミュニケーションを十分取るように努めます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3	・振り返りをしたり、指導案に気付いた点を書き共有している	振り返り時間を確保できるよう、療育の片付けがしやすいよう事業所の使い方を工夫していくよう努めてまいります。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		3	・記録をとり、どこに工夫が必要か考えている。さらに詳しくしていけるようにしたい	今後も継続してサービス提供記録の記載を続けてまいります。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		3	・前期後期とモニタリングの期間がある	今後も継続して、半年に1度のモニタリングの実施を継続して参ります。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		3		今後も可能な限り、サービス担当者会議に参加し、連携に努めてまいります。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3	・必要に応じて連携、保護者への情報提供	今後も地域の子育て支援員さんや相談支援事業所、発達障がい者支援室との連携を進めてまいります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			3	・支援計画の共有 ・会議や見学などを通しての共有 ・保護者様を通して情報共有	今後も見学や面談を通して、支援内容の情報共有が出来るよう努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			3	・支援計画の共有 ・保護者様を通して情報共有 ・あまりできていない	今後も見学や面談を通して、支援内容の情報共有が出来るよう努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3	・研修に参加している	今後も児童発達支援管理責任者を中心に、連携を進めて参ります。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		市の委託事業であり、個別療育の観点から積極的な交流は行っていませんが、必要に応じて連携していきたいと考えます。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		機会としてはまだ少ないため積極的に参加したいと考えています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		3	・療育中にフィードバックや聞き取りを行っている	今後も、保護者様とお子様の状況や課題について共通理解を図ってまいりたいと思います。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		3	・保護者研修 ・保護者研修やりょういくを通し、保護者支援の観点から支援を行っている	保護者研修の他に、茶話会を実施し、家族支援を促進していきたいと思ひます。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3		今後も、説明に努めてまいります。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		3		今後も、児童発達支援計画の内容の共有や療育での狙いの共有に努めてまいります。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			今後も、療育の中での情報共有や療育相談を通じての支援を継続して参ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		・保護者研修のグループトーク ・保護者研修では年3回グループトークの回を設けている	保護者研修の中でグループトークを設定する他、茶話会を実施し、保護者同士の連携を促進していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			体制によって、担当職員の参加も促していきたいと考えます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3			今後も事業所新聞や機関誌を通して情報の発信に努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3			今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		・視覚的に示す	今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	・地域に向けたイベントなどの開催が少ない ・今後より地域に開かれた事業運営を行っていく必要がある	事業所としての行事に関しても、今後検討していきたいと考えます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3			保護者様にマニュアルについて広く周知できるように努めたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3			今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		・アセスメント票に記入していただいている	今後も確認の実施に努めたいと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	・保護者に確認する ・おやつは持参していただいている ・保護者からの聞き取りと記録票をもとに対応している	今後も確認の実施に努めたいと思います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットについて、終会などを通じて、事業所全体で確認していきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1	・児童発達支援計画に記載はしていない	母子通所の事業所であることと、1時間の療育である為、身体拘束を行うことが性質上ないため記載しておりませんが今後の事を検討し、必要に応じて検討したいと思います。法人全体では身体拘束マニュアルがあります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。